

市立病院

沿	革	-----	146
施設	の概要	-----	147
各部門	の概要	-----	147
業務	の概要	-----	150

沿 革

明治24年	4月	彦根町大字5番に開設 診療科目は内科・外科
大正3年	6月	婦人科新設
大正10年	3月	耳鼻科新設
大正11年	11月	眼科新設
大正13年	3月	看護婦養成所設立
昭和8年	6月	本館・中病棟新築
昭和12年	2月	彦根市立病院と改称
昭和16年	4月	小児科新設
昭和27年	7月	結核病棟新設(50床)
	12月	炊事棟新設
昭和32年	4月	一般東病棟増築(40床)
昭和33年	5月	伝染病隔離病舎設立(27床)
昭和34年	9月	総合病院の承認
昭和35年	4月	皮膚・泌尿器科新設
昭和36年	6月	看護婦宿舎新築
昭和37年	10月	一般西病棟増築(60床)
昭和44年	9月	病棟・診療棟改築竣工 許可病床数 327床(一般 250・結核 50・伝染 27) 整形外科・歯科新設
昭和46年	7月	看護婦宿舎増改築 託児所新築
昭和56年	1月	脳神経外科新設
	3月	第2期増改築工事着手
昭和58年	3月	第2期増改築工事竣工 許可病床数 403床(一般 346・結核 30・伝染 27)
昭和61年	4月	准看護婦養成所休校
昭和63年	12月	結核病棟休止
平成元年	3月	伝染病棟閉鎖
平成3年	3月	西病棟改修工事
	5月	病院開設 100周年記念式典挙行
平成5年	3月	画像診断センター新築
平成12年	3月	新病院移転新築工事着工
平成14年	3月	新病院移転新築工事竣工 許可病床数 470床(一般 456・結核 10・感染症 4) 職員住宅・院内保育所完成
	7月	新病院開院 心療内科、形成外科新設
平成15年	6月	循環器科新設
	11月	(財)日本医療機能評価機構認定病院
平成19年	4月	医療情報センターおよび湖東地域リハビリテーション広域支援センター開設
平成20年	2月	院内助産所開設
	11月	(財)日本医療機能評価機構更新認定
平成21年	2月	こころと体の図書室開設
平成23年	11月	病院創立 120周年記念講演会開催
平成24年	4月	訪問看護ステーション移管
	7月	通院治療センター開設 許可病床数 458床(一般 444・結核 10・感染症 4)
平成25年	11月	(公財)日本医療機能評価機構更新認定
平成27年	4月	消化器内科、血液内科、糖尿病代謝内科、乳腺外科、消化器外科新設
平成28年	4月	地方公営企業法の全部適用(彦根市病院事業管理者新設)

施設の概要

1. 敷地面積 52,864.48㎡

2. 建物 地下1階・地上8階・塔屋2階

鉄筋コンクリート造 延べ面積37,721.70㎡

免震構造：震災のときも病院機能を維持できるよう免震構造を採用している。建物の下部に積層ゴムによる免震装置を設置し、地震の振動エネルギーを吸収する。

3. 病棟 11病棟

許可病床458床

一般444床(内、緩和ケア20床 ICU・CCU・救急20床) 結核10床 感染症4床

4. 診療科目 26科

内科 消化器内科 血液内科 糖尿病代謝内科 循環器科 呼吸器科 神経内科

心療内科 小児科 外科 乳腺外科 消化器外科 整形外科 産婦人科 泌尿器科

脳神経外科 眼科 耳鼻いんこう科 皮膚科 形成外科 麻酔科 放射線科

緩和ケア科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 病理診断科

5. 電子カルテシステム

医師が直接パソコンに処方や検査項目などを入力し、患者さんが指示された場所に行けば、すでにデータが送られており、事前に準備することで待ち時間を短縮することができる。また、データに二重三重のチェックがかかり、正確・安全に処理される。

各部門の概要

1. 外来部門

外来診療は、1階・2階のフロアに6つのブロックを配置したわかりやすい構成になっている。ブロック単位に受付があり、ブロック受付と診療室前には待ち合いと案内用の表示板を設置している。

2. 薬剤科

最新の薬剤システムを導入し、電子カルテシステムとの連動により患者さんが安心して治療を受けられるように、薬品の適正使用をチェックし、正確かつ安全な調剤を迅速に行う。また、あわせて病棟薬剤業務を行っている。

3. 放射線科

最新の画像診断装置を導入し、豊富な画像情報により検査や診察の質を向上させ、検査時間の短縮をはかり、総合的な放射線診断を行っている。

4. 臨床検査科

生化学や血液の自動分析装置と電子カルテシステムを接続することで、正しい検査データをすばやく報告することができる。生理機能検査や病理検査についても、最先端の検査機器を導入して高度な診断を行っている。

5. リハビリテーション科

理学療法・作業療法・言語聴覚療法による総合的なリハビリテーションを行う。明るく開放的な訓練室には最新の検査機器・訓練機器を配置し、屋外にはリハビリテーション庭園も整備している。脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、がん系疾患、心大血管疾患等に関するリハビリテーションを、多職種によるチーム医療体制により実施している。

6. 栄養科・栄養治療室

清潔管理に徹した設備とともに、適温冷配膳車を導入し、適時適温での配膳を行う。また、栄養治療室では主治医の指示に基づき、患者さんへの栄養指導を常時実施する。その他、糖尿病教室や妊婦・産婦さんへの集団指導なども実施している。

7. 手術センター

手術室8室(バイオクリーンルーム1室を含む)があり、最新の各種手術装置を導入して、あらゆる緊急手術に24時間迅速に対応できる体制を整えている。

8. 血液浄化センター

透析ベッド24台を配置し、また重症患者さんに対応できるよう個室を設置している。さらに集中監視システムを導入し、長時間の治療をより安全に行える体制を整えている。

9. 救急センター

診療時間外に来院された患者さんに、内科系・外科系の医師が対応する。専門医の診察が必要と判断された場合は、各科待機医が診察する。

10. 内視鏡センター

最新の電子内視鏡システムや、内視鏡下での手術に対応できるアルゴンプラズマ凝固装置を導入し、内視鏡検査や治療を行う。また、回復室を設け、検査終了後リラックスして回復できるよう、リカバリーチェア(回復用椅子)を設置している。

11. 健診センター

専門医が最新の検査機器・医療設備を使って、生活習慣病を中心に全身を系統的に検査し、早期発見・早期治療を目指して健康管理に取り組んでいる。

12. 病棟部門

4階から8階の各階にはA病棟とB病棟の2病棟があり、2階のICU・CCU・救急病棟を加え、11病棟の構成となっている。ほとんどの病室にトイレと洗面所を設置し、電動ベッドを全病棟に導入している。各階のデイホールは、入院患者さんが家族の方と談話したり、食事をする場所で、窓からは琵琶湖と周りの山々の季節の移ろいが眺望できる。

緩和ケア病棟(20床)では、がん患者さんの痛みや不安・孤独感などを和らげ、患者さんや家族の方の意思を大切にし、その人らしく生活できるようスタッフがチームを組み援助している。

ICU・CCU・救急病棟では、24時間体制で重症患者さんや重症心疾患の患者さんに対し、チーム医療を基本とした集中治療管理を行う。また、救急センターと密接に連携し救急患者さんの入院に対応している。

13. 患者家族支援室

療養中のさまざまな悩みや不安に対して、患者さんや家族の方が安心して療養生活が送れるよう、医療ソーシャルワーカーが医師・看護師と連携し相談に応じている。

14. 地域医療連携室

地域の診療所や他病院等との窓口として、地域医療連携室が迅速・的確に対応し、患者さんに最も適切な医療を提供し、地域医療の向上を図っている。

15. 臨床工学科

医用電子機器および生命維持装置等の保守管理を中央化し、安全かつ効率的運用を行う。また、透析や人工呼吸療法などに臨床技術提供を行い、院内の医療に貢献している。

16. がん相談支援センター

地域がん診療連携拠点病院として、当院の患者さんに限らず、広く地域のがん患者さんや家族の方からの、がんという病気に伴って出てくるさまざまな悩みや不安に対して、専門の看護師や相談員が医師や他の看護師と連携し、相談に応じている。

17. 訪問看護ステーション

看護師が定期的にお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の医療処置・日常生活ケア・家族ケア・看取りなど多職種と連携しながら支援していく在宅サービスを行っている。

18. 通院治療センター

がん患者さんなどが日常生活や社会生活を送りながら外来で治療が継続できるよう、ベッドやリクライニングチェアを備えた専用の治療室において化学療法を実施している。

19. 在宅医療支援室

入院患者さんが円滑に在宅復帰できるよう、訪問診療等の在宅療養支援を行うとともに、地域の開業医や診療所が在宅療養支援を行う場合に、急変時対応やレスパイト入院を引き受けるなど、在宅療養の後方支援を適宜実施している。

業務の概要

1. 事業収支の状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
病院事業収益	10,068,650 千円	10,464,580 千円	10,492,483 千円
医業収益	9,223,220	9,415,945	9,650,102
医業外収益	845,430	816,029	835,053
特別利益	0	232,606	7,328
病院事業費用	10,276,973	11,394,062	11,369,482
医業費用	9,508,712	9,762,974	10,200,864
医業外費用	601,139	789,310	763,867
特別損失	167,122	841,778	404,751
純利益	—	—	—
純損失	208,323	929,482	876,999
累積欠損金	8,724,723	9,232,205	10,087,203
利益剰余金	—	—	—

(税抜き決算額)

2. 業務実績の状況

			平成25年度	平成26年度	平成27年度
患者数 (人)	入院	延べ患者数	119,032	117,097	119,462
		1日平均	326.1	320.8	326.4
	外来	延べ患者数	240,116	239,054	234,998
		1日平均	984.1	979.7	967.1
	計		359,148	356,151	354,460
病床利用率 (%)			73.4	70.0	71.3
患者1人1日当たり医業費用(円)			25,756	27,412	28,779
患者1人1日当たり 診療収益	入院(円)		50,469	54,414	53,780
	外来(円)		10,410	11,487	12,497
	平均(円)		24,904	26,438	27,225

3. 患者数の状況 (平成27年度)

	入 院		外 来	
	患者数(人)	1日平均(人)	患者数(人)	1日平均(人)
内科	22,764	62.2	43,977	181.0
呼吸器科	15,671	42.9	11,257	46.3
小児科	4,227	11.5	14,630	60.2
外科	9,689	26.5	10,887	44.8
整形外科	14,727	40.3	24,849	102.3
脳神経外科	12,903	35.3	9,008	37.1
皮膚科	913	2.5	14,305	58.9
泌尿器科	6,288	17.2	22,287	91.7
産婦人科	826	2.3	4,955	20.4
眼科	779	2.1	9,478	39.0
耳鼻いんこう科	817	2.2	10,323	42.5
神経内科	0	0.0	5,008	20.6
放射線科	0	0.0	3,727	15.3
歯科口腔外科	2,243	6.1	13,090	53.9
形成外科	3,509	9.6	12,472	51.3
心療内科	0	0.0	1,067	4.4
循環器科	18,561	50.8	23,142	95.2
緩和ケア科	5,545	15.1	536	2.2
合 計	119,462	326.4	234,998	967.1

4. 職員数の状況 (平成28年5月1日現在)

職 種		人 数	職 種		人 数
医 師		62人	医療技術部門	作業療法士	6人
臨床工学技士	看 護 師	394		臨床工学技士	12
	准 看 護 師	1		言語聴覚士	3
	看 護 助 手	4		管理栄養士	6
医療技術部門	薬 剤 師	20		歯科衛生士	1
	診療放射線技師	17	事務部門	専門職員	34
	臨床検査技師	17	計		592
	視能訓練士	3	臨時職員		291
	理学療法士	12	合 計		883